

令和4年度（運動・文化）部活動の方針・課外活動の方針

学校名：中野市立 豊田中学校

目標

＊課外活動・部活動で目指す各校の児童生徒の姿

学級、学年を離れ、共通の趣味や関心を持つ生徒を中心に組織し、団体生活を行う中で、生徒がそれぞれの個性を発揮し、協力し合う活動を通じてスポーツや文芸に親しみ、より高い技能を修得するとともに、望ましい人間関係を育てる。

本校の運営方針

【下校時刻】 4月～9月 18:00 9月26日～ 17:30
10月17日～ 17:00 11月 7日～ 16:30
2月13日～ 17:00 3月 6日～ 17:30

- ・午後の学活終了後、放課後は部員が揃って活動に打ち込める時間を確保する。
- ・平日の練習時間は2時間を超えない範囲で計画をする。

《大会前・テスト前》

- ・郡市大会1ヶ月前は水曜日の放課後も行ってもよい。（学校長の許可による）
- ・中間、期末テスト前、3日間（休日含まない）の練習はしない。

休日の活動

- ・休日の練習時間は長くとも3時間程度とし、土日のどちらか1日は休養をとる。休日練習を行うときは学校長の許可を得た場合のみ行っても良いとする。また、参加も個々で選択できる幅を持たせる。
- ・大会等の関係で2日間にわたって活動した場合にはその分の休養日を平日に1日確保する。
- ・土、日、長期休業中の活動については、生徒への負担を十分考慮した上で計画し、係及び職員に事前に連絡し実施する。
（長期休業中は、休業期間の半分以上の休養日を設定する。）

練習試合・交流会

- ・練習試合及び交流会等の活動計画は、部員に過度の負担とならないよう計画し、職員に連絡し実施する。
- ・休日の練習について、昇降口黒板への記入及び計画書を職員室掲示板に掲示する。

指導体制の工夫

指導体制の工夫

- ・下校時刻を厳守させるため、部長会と相談しながら顧問が下校指導をする。
- ・活動は、原則として顧問の監督下で行う。ただし、顧問が監督できない場合は、活動内容や注意事項を必ず事前に指導した上で活動させる。
- ・部員の心身の状態を十分に考慮して活動させる。
- ・怪我の対応は迅速に行う。

＊校内職員組織の工夫・・・部員数が少ないが複数の顧問で見ようとしている。

＊部活動指導員の導入・・・部活動指導員の活用と教職員との役割分担を進める。

＊令和5年度からの「休日の部活動の段階的な地域移行」について、現段階では未定。

その他

＊少子化に対応した部活動運営の工夫（学校間や市町村間の連携等）や運動の二極化に対応した「ゆるスポ」活動（リズムダンス・ヨガ等）の設置も未定。